

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【公開番号】特開2019-92548(P2019-92548A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-221889(P2017-221889)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

電源投入時に電源投入処理を実行可能であり、

電源投入後の遊技中に乱数抽選で当選した場合に遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、

前記乱数抽選で当選する確率に関する設定値を記憶し、

前記電源投入処理を実行するためのプログラムは、前記設定値を確認するための設定確認処理プログラムと、バックアップから復帰させるためのバックアップ復帰処理プログラムと、前記バックアップ復帰処理プログラムに移行するためのバックアップ復帰移行処理プログラムとを含み、

前記電源投入処理で前記設定確認処理プログラムを実行することなく前記バックアップ復帰処理プログラムを実行する場合には、前記バックアップ復帰移行処理プログラムから前記バックアップ復帰処理プログラムへと移行し、

前記電源投入処理で前記設定確認処理プログラムと前記バックアップ復帰処理プログラムとを実行する場合には、前記設定確認処理プログラムから前記バックアップ復帰処理プログラムへと移行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

このようにパチンコ機に関しては、乱数抽選の当選確率(大当たり確率)を任意に変更することは認められていなかったが、釘調整禁止の徹底等の流れにより、パチンコ機でもスロットマシンと同様に乱数抽選の当選確率に対応する設定値を任意に設定することが認められる方向にある。しかしながら、設定値の設定を可能にすると、その機能に関する処理の分だけプログラム容量が増加することとなり、限られたメモリ資源が圧迫されてしまうという問題がある。

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、設定値の設定を可能にすることによるプログラム容量の増加を抑制することが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0005**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0005】**

本発明は、電源投入時に電源投入処理を実行可能であり、電源投入後の遊技中に乱数抽選で当選した場合に遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、前記乱数抽選で当選する確率に関する設定値を記憶し、前記電源投入処理を実行するためのプログラムは、前記設定値を確認するための設定確認処理プログラムと、バックアップから復帰させるためのバックアップ復帰処理プログラムと、前記バックアップ復帰処理プログラムに移行するためのバックアップ復帰移行処理プログラムとを含み、前記電源投入処理で前記設定確認処理プログラムを実行することなく前記バックアップ復帰処理プログラムを実行する場合には、前記バックアップ復帰移行処理プログラムから前記バックアップ復帰処理プログラムへと移行し、前記電源投入処理で前記設定確認処理プログラムと前記バックアップ復帰処理プログラムとを実行する場合には、前記設定確認処理プログラムから前記バックアップ復帰処理プログラムへと移行するように構成したものである。

また、前記設定確認処理プログラムに続いて前記バックアップ復帰処理プログラムを配置し、前記バックアップ復帰移行処理プログラムは、前記バックアップ復帰処理プログラムへのジャンプ命令を有するものとしてもよい。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】**

本発明によれば、設定値の設定を可能にすることによるプログラム容量の増加を抑制することが可能である。